

東京ほっとスポット

「芸術の秋!」上野で世界文化遺産に触れる



JR上野駅不忍口といえば、かつて上野動物園のパンダ見学でにぎわっていましたが、今は「世界文化遺産」に登録された国立西洋美術館めあての人でにぎわっていました。国立西洋美術館は、20世紀を代表する建築家、ル・コルビュジエ（1887～1965）が設計した日本で唯一の建造物です。

周囲には「祝!世界文化遺産登録」の、のぼりが掲げられ、続々と外国人観光客や修学旅行生、ツアー客が入口に向かいます。「ピロティ」という、1階の入口は、柱だけで建物を支え、休憩もできる開放的な空間。分厚い壁で建物を支えるのが当たり前だった当時では、画期的な設計だったそうです。

いよいよ建物内に入ると、1階の「19世紀ホール」は吹き抜けになっており、トッブライトという天井の三角窓から自然光が差し込む荘厳な雰囲気。ゆっくりと美術品や景色を楽しむことができるよう、2階へは階段ではなくスロープで上っていきます。

2階は、吹き抜け部分を囲む回廊型の展示室。コルビュジエ氏の「無限成長美術館」というコンセプトのもと、収蔵品が増えるにつれて外側に展示室を増床することができるよう、設計されています。



▲自然光が差し込むトッブライト
▲19世紀ホール



▲高低差のある天井
▲2階に上るスロープ

光や空間の変化を楽しむ

高い天井と低い天井が組み合わされた展示室は、絵と共に空間や光の変化を楽しめます。また、自然光を取り入れるため、低い天井の上部はガラス張り（現在は人工照明のみ）。回廊型なので、角を曲がると同じ景色がくりかえし現れ、デジャヴのような不思議な感覚に陥りました。2階には、1階ホール見渡せるバルコニーが2ヶ所あり、建物の構造をじっくりと眺められます。

展示されているロダンの彫刻をはじめとした「松方コレクション」（松方幸次郎氏の収集した美術品）だけでなく、世界文化遺産となった建造物を堪能するという不思議な美術鑑賞。ぜひ、皆様も味わってみてください。

親切ポイント発見!

お財布に親切!

国立西洋美術館の入場料は、なんと430円（常設展のみ）。大学生130円・高校生以下及び18歳未満、65歳以上は無料。毎月第2、第4土曜日、文化の日（11月3日）は無料観覧日です。

休憩コーナーが親切!

館内にある休憩コーナーでは、コルビュジエ氏がデザインしたソファにすわり、資料DVDを見たり、くつろぐことができます。贅沢な空間となっています。



美術鑑賞の後は上野を散策!

まるで異国・アメ横ぶらり

500m程に食料品店や衣料品店・飲食店など400店舗以上が軒を連ねる商店街。まるで東南アジアの屋台街を歩いているような、活気ある独特の雰囲気があります。



上野スイーツは「みはし」で決まり!

全国的に有名な甘味店。上野に来たら必ず立ち寄るという人も多いのでは? お薦めはやはり、王道の「あんみつ」です。

